

財務・非財務データ 財務方針について

お客さまニーズの変化に対応し、
将来の高い成長性が期待できる領域に
十分な投資を行います。

福島 竜平

取締役常務執行役員
リスク・コンプライアンス室担当



当社は、本業の稼ぎを示す売上高営業利益率と過去の投資の評価を加味した当期純利益、株主さまからお預かりした資本の利用効率を示す自己資本当期純利益率(ROE)を重要な財務指標と考えています。理由としては、過去10年間の店舗数の減少による売上高の伸び悩みやコスト上昇による営業利益率の低下、投資した案件の将来収益への貢献度向上が当社の解決すべき重要課題と認識しているからです。

2019年度は、①モスバーガー事業(国内)の収益性改善、②海外市場で成長を加速する仕組みの整備、③新規事業への積極的な投資、④働き方改革・デジタル技術の活用に注力しました。モスバーガー事業(国内)では、商品開発と販売促進の部門を新設のマーケティング本部に配し、従前は商品訴求のみに偏りがちであったお客さまとのコミュニケーションにおいて、マーケットインの視点でさまざまな施策を提案してきたことがお客さまに受け入れられ、評価されたという感触を得ています。モスバーガー事業(海外)では、フィリピンで第1号店を出店し、ベトナムへの進出も決定しました。その他飲食事業では、「ミアクッチーナ」の多様な立地への出店、働き方改革・デジタル技術の活用については、労働環境の整備と残業時間の削減、社内電子稟議システムの導入など、さまざまな施策で一定の手応えを感じることができました。財務状況は、過去の蓄積により自己資本比率70%を維持し、有事の際の加盟店支援に備えるとともに、モスバーガー事業(国内)に依存する体質からの脱却を目指し、海外事業、新規事業への投資を積極的に行いました。しかし、年度末に発生した新型コロナウイルス感染症による影響もあり、上記3つの財務指標ともに当初の目標には届きませんでした。

外部からの評価

●日経「スマートワーク経営」調査

多様で柔軟な働き方の実現などにより人材を最大限活用するとともに、イノベーションを生み、新たな市場を開拓し続ける好循環を作り、生産性など組織のパフォーマンスを最大化させることを目指す経営戦略です。当社は、★3の評価でした。

<評価>
★★★

●健康経営優良法人

地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。モス本社は、「健康経営優良法人2020(大規模法人部門)」に認定されました。



●日経「SDGs経営」調査

環境、社会、企業統治を重視するESG投資の拡大や消費者意識の変化などに見られるように、投資家や消費者はSDGsに積極的に取り組む企業を評価する傾向がますます強まっています。SDGsを経営と結びつけることで、事業を通じて社会・経済・環境の課題解決に取り組み、企業価値向上につなげている企業を評価します。当社は、★2つの評価でした。

<評価>
★★

●三井住友銀行ESG/SDGs評価融資

「環境配慮型製品・サービスにおける取組」、「ローカル/グローバル/コミュニティへの配慮」、「企業理念・サステナビリティへのコミットメント」において高い水準であると判断されました。また、事業を通じたSDGs達成への貢献意欲が高いと評価されました。

モスグループの新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、対応基本方針を「新型コロナウイルスに『かからない』『ひろげない』。一人ひとりができることを徹底しよう。」と定め、本社、店舗において各種対策を実行しています。また、ステークホルダーの皆さまに向けた社会貢献活動も行っています。

店舗・本社の取り組み

勤務体制としては、体調不良者の自宅待機の徹底、濃厚接触者の出勤停止、当面の海外出張の中止などを行っています。本社メンバーに関しては、2020年5月末までの緊急事態宣言下では原則テレワークとし、宣言解除後も週の半分はテレワーク体制をとり、3密を避けた労働環境を徹底しています。

また、店舗営業に関しては、直営店、加盟店ともに、一般社団法人日本フードサービス協会の「外食業の事業継続のためのガイドライン」も参考に、感染予防対策を実施したうえで運営を行っています。モスバーガー店舗では、従前よりキャストの勤務時の体調確認、正しい手洗いの励行、アルコール除菌液による消毒を徹底していますが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、メンバーのマスク着用に加え、製造担当者は手袋着用を徹底し、衛生管理により一層努めています。また、店内では、客席間隔の確保やアルコール除菌液設置、注文カウンターへの透明シートの設置を行っています。



社会貢献の取り組み

“ひんやりドルチェ なめらかショコラ”を無料提供

新型コロナウイルス感染拡大防止対策による臨時休校措置を受け、お子さまへのお食事支援を行いました。2020年3月18～31日の期間、全国のモスバーガー店舗(一部店舗除く)において、お子さま向けセットメニュー“モスワイワイセット”シリーズをご注文された方を対象に、“ひんやりドルチェ なめらかショコラ”を無料提供しました。



緊急の新卒採用選考を実施

2020年4月に入社を予定していたモスの内定者21名とは別に、新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年4月入社の内定取り消しを受けた学生を対象として、緊急新卒採用選考を実施しました。

「モスの協力農家」に向けた野菜の販売支援を実施

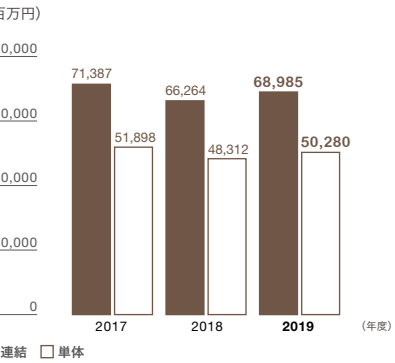
緊急事態宣言に伴うレストランなどの休業や営業時間短縮により、野菜の出荷が激減しました。これを受けて、モスの協力産地支援の一環として、13種類程度の野菜と果物が入った「農家さんお助け野菜セット モスバーガーバージョン」の販売支援を2020年5月上旬より実施しています。当チェーンの野菜調達及び仕分け業務を協業している株式会社まつのがインターネット販売を行い、モスは企画ならびに販促支援(店頭での告知など)を行っています。この商品の販売量を増やすことで、モスの協力農家の経営を支援するほか、お客さまにはお買い物負担の低減をご提案しています。



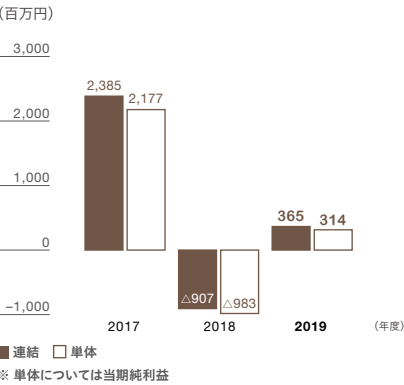
11カ年財務サマリー

決算期(年度)	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
損益状況 (単位:百万円)											
売上高	60,009	63,175	62,672	62,371	65,329	66,310	71,113	70,929	71,387	66,264	68,985
営業利益	2,282	3,223	2,087	1,889	2,157	1,554	3,824	4,663	3,734	517	1,060
経常利益	2,523	3,602	2,366	2,124	2,378	1,523	4,011	4,892	3,911	724	1,232
親会社株主に帰属する当期純利益	1,634	1,854	1,823	1,520	1,744	672	2,284	3,050	2,385	△ 907	365
財務状況 (単位:百万円)											
総資産	46,522	48,686	48,447	50,373	53,207	55,301	57,655	61,589	61,834	60,588	64,348
純資産	36,072	37,182	38,240	39,781	41,350	42,376	43,803	46,140	47,950	45,460	45,100
有利子負債	1,388	1,639	1,328	1,082	1,000	1,159	977	2,590	1,894	2,968	5,757
キャッシュ・フローの状況 (単位:百万円)											
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,562	4,561	2,049	4,038	4,648	4,103	5,069	5,379	5,096	837	5,661
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,344	△ 5,098	△ 1,438	△ 12	△ 3,612	△ 4,938	△ 3,514	△ 4,579	△ 3,387	△ 2,217	△ 401
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 685	△ 507	△ 1,165	△ 870	△ 981	△ 859	△ 1,047	731	△ 1,665	184	△ 2,465
フリー・キャッシュ・フロー	1,218	△ 537	611	4,026	1,036	△ 835	1,555	800	1,709	△ 1,380	5,260
1株当たり情報 (単位:円)											
1株当たり当期純利益	53.02	60.14	59.14	49.33	56.58	21.82	74.12	98.94	77.39	△ 29.43	11.84
1株当たり純資産	1,163.29	1,199.28	1,237.52	1,287.45	1,337.79	1,372.00	1,418.05	1,491.22	1,549.55	1,469.23	1,456.61
1株当たり配当金	16.00	20.00	20.00	20.00	22.00	22.00	24.00	26.00	28.00	28.00	28.00
経営指標 (単位:%)											
自己資本比率	77.1	75.9	78.7	78.8	77.5	76.5	75.8	74.6	77.3	74.8	69.8
自己資本当期純利益率	4.7	5.1	4.9	3.9	4.3	1.6	5.3	6.8	5.1	△ 2.0	0.8
総資産経常利益率	5.5	7.6	4.9	4.3	4.6	2.8	7.1	8.2	6.3	1.2	2.0
配当性向	30.2	33.3	33.8	40.5	38.9	100.8	32.4	26.3	36.2	－	236.5

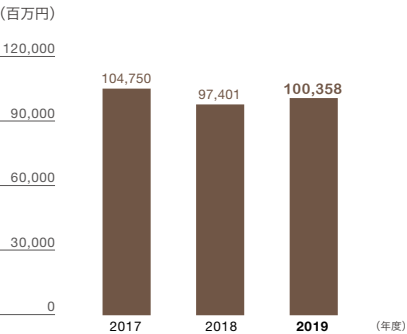
売上高



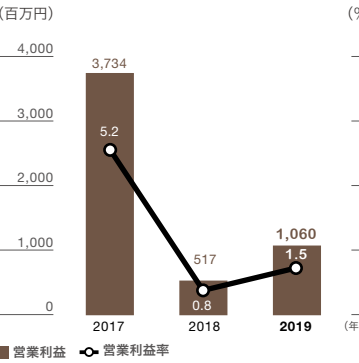
親会社株主に帰属する当期純利益



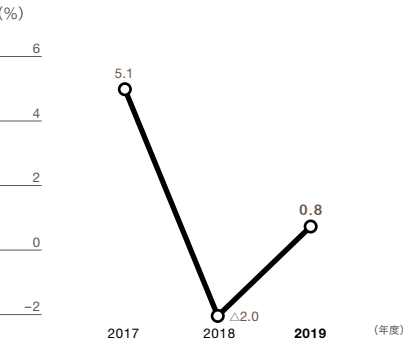
国内チェーン全店売上高



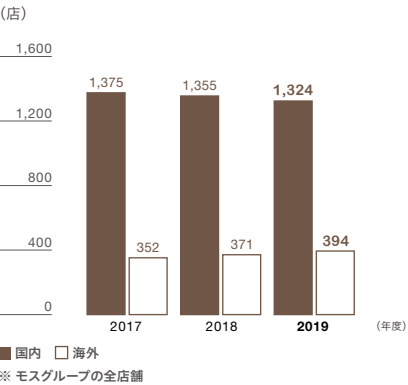
営業利益／営業利益率(連結)



ROE



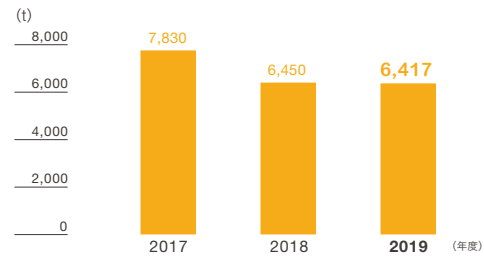
店舗数



(テーマ)
食と健康



モスの生野菜 年間出荷量の推移



お店で使用される生野菜は、全国106産地(約2,700軒の農家)で、できるだけ農薬や化学肥料に頼らない方法で育てられています。P43

モスの産直野菜フェスタ実施回数

12県 **14回**

「モスの生野菜」を店舗メンバー自らが、近隣の協力農家で収穫体験し、地元の野菜を使った限定商品の提供などを行う「モスの産直野菜フェスタ」を、産地の旬に合わせて全国をリレーする形で開催しています。

低アレルゲンメニュー年間販売数

(2種類) **266,688食**

「アレルギーを持つ方にも、安心してハンバーガーを食べていただきたい」という想いから、店舗で提供できる低アレルゲンメニューの開発を進めています。

現在は、米粉のパンズ(パン)を使用した“ポークサンド<米粉>”と“ポークロール <米粉>”の2種類をご用意しています。

店舗衛生監査回数

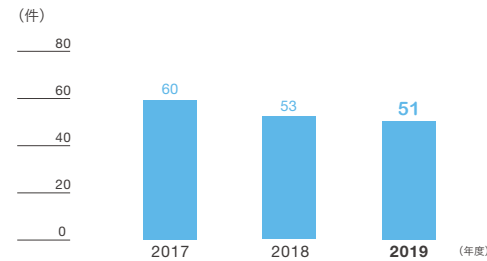
(1店舗あたり) **年2回**

お客さまに安全・安心をお届けするために、モスグループ店舗では、グループ会社の株式会社エム・エイチ・エスによる、ISO22000に準拠した手法を用いた衛生監査を行っています。P36

(テーマ)
店舗と地域コミュニティ



モスの食育プログラム 実施件数の推移



地域の皆さまとの交流や豊かな食生活の提案を目的とし、2005年度から地域の小学校を対象に、近隣店舗のメンバーが小学校に赴き出張授業を実施しています。P41

2019年度募金実績

愛のモスボックス

6,742,949円

(実施期間: 2018年8月1日～9月11日
2018年11月1日～2019年7月31日)

北海道胆振東部地震義援金

2,051,666円

(実施期間: 2018年9月12日～10月31日) P41

こども110番登録店舗数

全国 **1,125店舗**

災害時帰宅困難者支援協定店舗数

42都道府県 **1,211店舗**

子育て支援パスポート事業参加店舗数

25都府県 **637店舗**

2019年度リクモス応募数/採用数

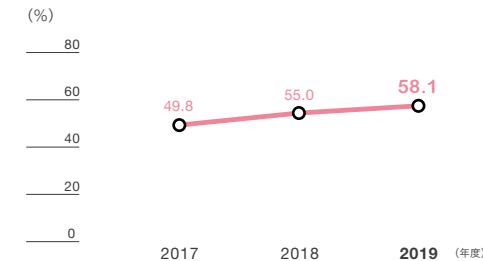
応募数 **約27,400件**

採用数 **約6,200名** P40

(テーマ)
人材育成・支援



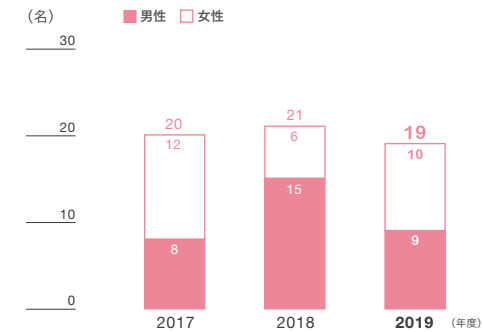
年次有給休暇取得実績の推移※



連続休暇取得の推奨などの取り組みにより、有給休暇取得率向上を図っています。

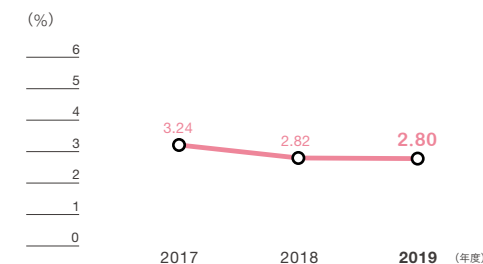
※(株)モスフードサービス単体

新卒採用者数の推移※



※(株)モスフードサービス単体

障がい者雇用率の推移※



特例子会社である株式会社モスシャインを通じ、障がいのある方々を安定的に雇用しサポートしています。P38

※ 2017年度は(株)モスフードサービス単体
2018年度以降は(株)モスフードサービス及び国内グループ会社

2019年度健康診断受診率※

100%

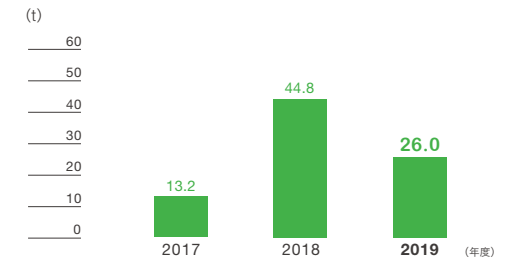
健康診断の受診に加えて、保健師による「健康相談室」を定期的に開設し、健康的な生活を送るためのアドバイスなどを行っています。

※(株)モスフードサービス単体の正社員

(テーマ)
地球環境

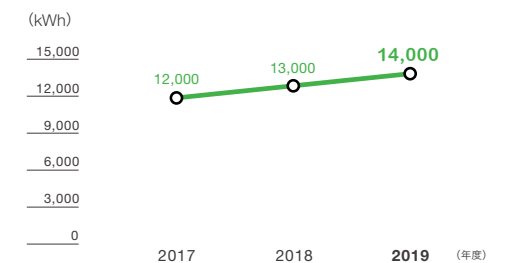


フードバンクへの寄贈量の推移



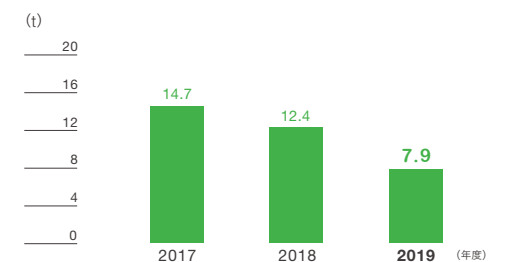
フードバンク活動を食品サポーターとして支援し、品質に問題はないものの廃棄せざるを得ない食材を無償提供することで、食品ロスの発生を抑制しています。P34

グリーン電力利用実績の推移



環境負荷の低い「グリーン電力」を購入し、イベント運営や印刷に使用する電力をオフセット(代替)することで、再生可能エネルギーの普及に貢献しています。P33

森の町内会「間伐に寄与する紙」
使用量の推移



企業が間伐材を使った紙を購入することで、健全な森林を維持するために必要な間伐の費用を生み出す仕組みで、おもに印刷物で活用しています。P33

環境教育

MSR通信発行回数※ **12回発行**

※ 全店舗のキャストに向けた環境教育ツール

マスターライセンス更新研修※ **78開催**

※ 店舗責任者に必要な知識及び情報を共有する研修で環境講座を実施

会社情報

社名	株式会社モスフードサービス	上場市場	東京証券取引所市場第一部
	MOS FOOD SERVICES, INC.	証券コード	8153
設立	1972年7月21日	株式公開日	1985年11月
資本金	114億1,284万円	発行可能株式総数	101,610,000株
本社所在地	〒141-6004 東京都品川区大崎2-1-1 ThinkPark Tower 4階	発行済株式総数	32,009,910株
従業員数	1,351名	単元株式数	100株
		株主数	39,234名

グループ会社

株式会社モスフードサービス

フランチャイズチェーンによるハンバーガー専門店「モスバーガー」の全国展開、その他飲食事業などを行う。



モスバーガー



モスプレミアム



モスカフェ

その他飲食事業



マザーリーフ



マザーリーフティースタイル



モスド
(ダスキンとのコラボ店舗)



ミアクッチーナ

株式会社モスストアカンパニー

モスバーガーの経営を行う。



モスバーガー

株式会社モスダイニング

レストラン「chef's V(シェフズバイ)」の経営、レストラン「GREEN GRILL(グリーングリル)」の経営、四季の旬菜料理「AEN(あえん)」の経営を行う。



あえん



グリーングリル



シェフズバイ

株式会社エム・エイチ・エス

安全な食を提供するため、施設・設備検査や微生物検査など、衛生管理に関する業務全般を行う。

株式会社モスクレジット

モスグループ加盟店を対象とした融資や保険代理業、機器リース・レンタル業務、決算データ管理を行う。

株式会社モスシャイン

モスグループにおける障がい者雇用の拡大と安定を図るため、個々の特性や能力、適性に合った職場環境を整備することを目的に設立。

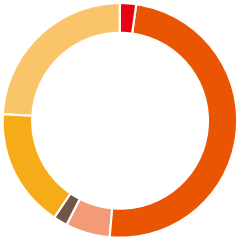
大株主の状況

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	2,325	7.44
紅梅食品工業株式会社	1,400	4.48
株式会社ダスキン	1,315	4.21
株式会社ニッソー	1,214	3.89
日本生命保険相互会社 (常任代理人 日本マスタートラスト信託銀行株式会社)	1,209	3.87
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	822	2.63
山崎製パン株式会社	718	2.30
株式会社三菱UFJ銀行	528	1.69
日本ハム株式会社	431	1.38
STATE STREET BANK WEST CLIENT-TREATY 505234 (常任代理人 株式会社みずほ銀行)	392	1.26

※ 当社は自己名義株式を755千株保有していますが上記の大株主より除外しています。

所有者別

株式分布状況



自己名義株式	2.4%
個人・その他	49.2%
外国法人等	6.1%
金融商品取引業者	2.0%
金融機関	16.4%
その他の法人	23.9%

店舗数

モスグループ総合計 1,718店

【国内店舗数】

モスバーガー	1,285店
その他飲食事業	39店

その他飲食事業店舗名	店舗数
モスクラシック・モスプレミアム	2
MOSDO !	2
マザーリーフ	10
マザーリーフ ティースタイル	9
ミアクッチーナ	6
あえん	7
グリーングリル	2
シェフズバイ	1

【海外店舗数】

モスバーガー	394店
--------	------

台湾	279店
シンガポール	41店
香港	29店
タイ	12店
インドネシア	3店
中国	11店
オーストラリア	6店
韓国	12店
フィリピン	1店

